

都市再生整備計画

うらわ えきにしぐちしゅうへん
浦和駅西口周辺地区
(第1回変更)

さいたまけん
埼玉県 さいたま市

令和5年11月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	さいたまけん 埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	浦和駅西口周辺地区	面積	約16 ha
計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度				

目標

大目標 駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出及び文化芸術に気軽に触れ合える機会の創出を図る

小目標① 商業機能・文化機能等の集積強化・再形成によるにぎわいの創出

小目標② 居心地が良く歩きたくなる空間づくり

小目標③ 幅広い文化芸術と気軽に触れ合えるまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区を含む浦和駅周辺地区は、さいたま市総合振興計画基本計画及びさいたま市都市計画マスタープランにおいて本市の都心に位置付けられている。
- ・また、本地区周辺は古くは門前町、宿場町として栄えた歴史があり、玉蔵院や調神社といった歴史文化資源が存在する。
- ・本地区周辺は、県の行政の中心地であるほか、商業・業務機能、教育・文化機能が集積している。一方で、駅周辺には老朽化の進んでいる建築物もあり、今後それらの機能の更新等を図る必要がある。
- ・本地区を含む浦和地区は、さいたま市バリアフリー基本構想において重点整備地区に位置付けられ、駅周辺の一体的なバリアフリー整備や移動の安全性・利便性・快適性が確保された歩行者空間の整備を進めることに重点を置いている。
- ・本地区を含む浦和駅周辺地区ではこれまで2つの都市再生整備計画が策定され、都市計画道路事業や連続立体交差事業、市街地再開発事業などの取組が進められてきた。
- ・平成25年3月には、湘南新宿ラインの浦和駅停車の実現により、交通アクセスの向上が図られた。さらに、浦和駅東西連絡通路や地下通路の開通などにより、歩行者の回遊性も高まっており、都心としてのにぎわいの創出のため、更なる交通結節機能及び回遊性の向上、バリアフリー化の推進が求められている。
- ・現在、本地区では浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業が事業中であり、商業機能・住居機能・文化機能(市民会館うらわ移転)・子育て支援機能を有した複合施設の整備が進められている。また、都市計画道路の整備が事業中となっており、浦和駅周辺地区の将来像実現に向けて事業が進められている。

課題

- ・商業・業務機能や文化機能を中心とした都心にふさわしい高次都市機能のより一層の集積を図る必要がある。
- ・都心としてのにぎわい創出のため、更なる交通結節機能及び歩行者の回遊性の向上、併せてバリアフリー化の推進を図る必要がある。
- ・みどりの創出やオープンスペースづくりなどにより、ゆとりある都心空間の形成が必要である。

将来ビジョン(中長期)

【さいたま市総合振興計画基本計画(令和3年3月改定)】

- ・本地区を含む浦和駅周辺地区の目指すべき方向性として、「行政機能を担うとともに、商業・業務機能や文化機能を中心とした機能の集積を図り、都心としての形成を進める」、「駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出と、歴史文化資源や「県都」、「文教都市」といったイメージを生かした、「洗練された伝統と感性豊かな文化が息づく、風格で魅了する都心地区」の形成を目指す」ことを示している。

【さいたま市都市計画マスタープラン(平成26年4月改定)】

- ・本地区を含む浦和駅周辺地区の目標像として、「行政機能、多彩な商業機能や文化・交流機能が集積し、各機能が快適な歩行者空間ネットワークとみどりのネットワークで結ばれた都心の形成を目指す」ことを示すとともに、浦和区のまちづくりの基本的な考え方の1つとして「浦和駅周辺の回遊性を生み出すとともに、駅東西のバランスが取れたまちづくりを進める。また、みどりの創出やオープンスペースづくりなどにより、ゆとりある都心空間の形成を目指す」ことを示している。

【さいたま市文化芸術都市創造計画(令和3年3月改定)】

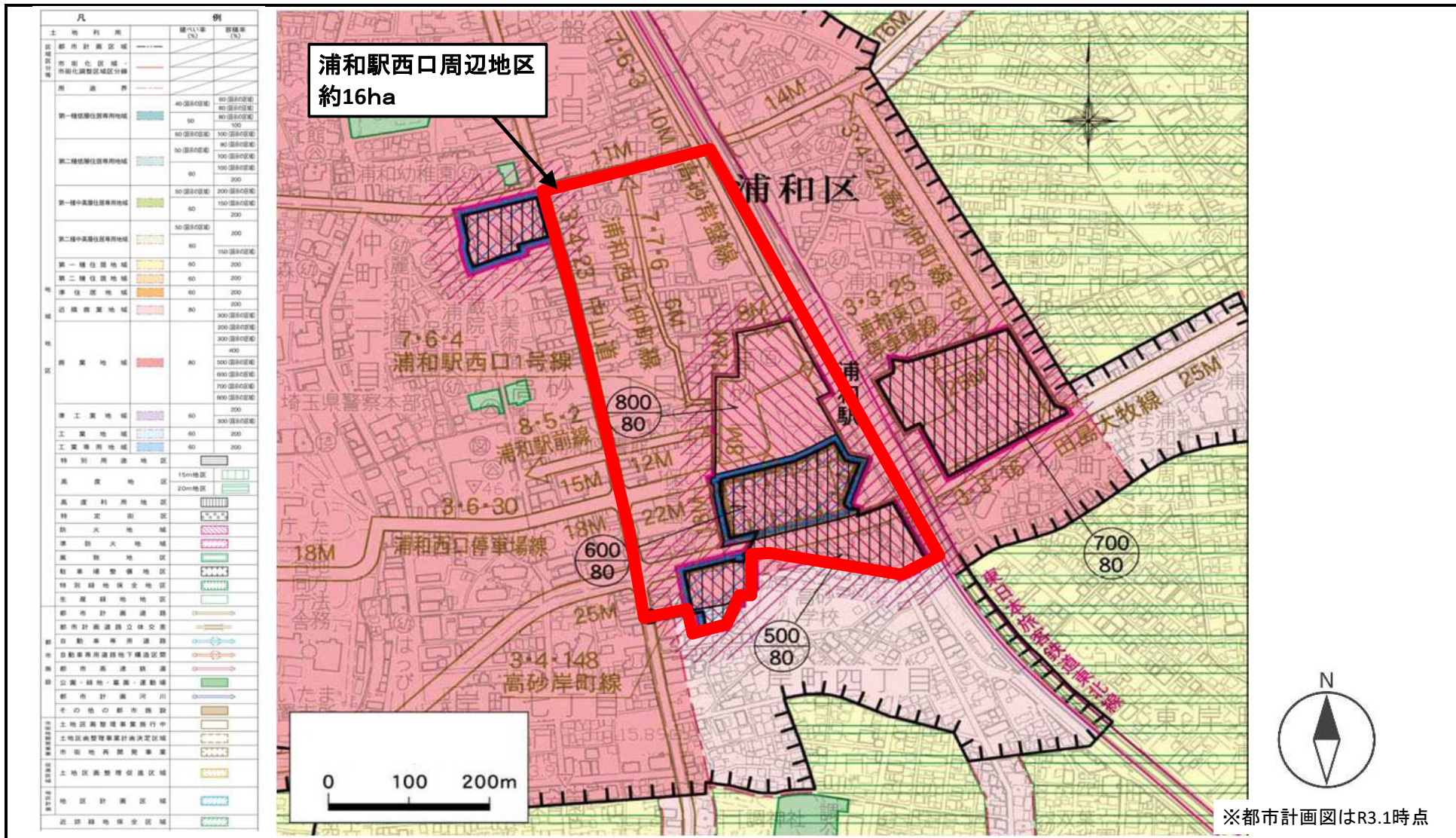
- ・本市が目指す将来像として「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」を掲げ、「市民等が主体的に文化芸術活動に参画するまち」、「幅広い文化芸術と気軽に触れ合えるまち」、「文化芸術を世界へ発信するまち」、「文化芸術の創造力による活力にあふれたまち」の4つのまちの姿を示している。
- ・また、新施設整備後の「市民会館うらわ」を文化芸術都市創造に向けた「文化芸術創造拠点」に位置付けている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
駅乗降客数	人/日	浦和駅の1日当たり乗降客数(定期利用者を除く)	浦和駅周辺の商業・文化機能等の集積によるにぎわいや活性化を測る指標とする。	64,182	R1: 65,254 R8
地域の住み心地	%	さいたま市民意識調査の住み心地を問う項目に対し対象者(浦和駅利用者かつ浦和区在住者)のうち「住みやすい」及び「どちらかというと住みやすい」と回答した割合	浦和駅周辺の機能集積や回遊性向上、居心地の良い空間整備等による住み心地の向上を測る指標とする。	88.3	R1: 93.0 R8
小売業の年間商品販売額の増減率	%	経済センサス活動調査における、小売業年間商品販売額の計画地区内町丁目に対する前回調査結果からの増減率	駅周辺の回遊性・滞在性が向上し、まちなかに来訪者が滞留することによる区域内の小売業の販売額増加を測る指標とする。	35.0	H24~H28: 市全体の販売額の増減率+5% R3~R8
市民会館うらわの利用者数	人/年	市民会館うらわの利用者数	市民会館うらわの機能移転による文化芸術と気軽に触れ合える機会の増加を測る指標とする。	192,745	R1: 320,000 R8

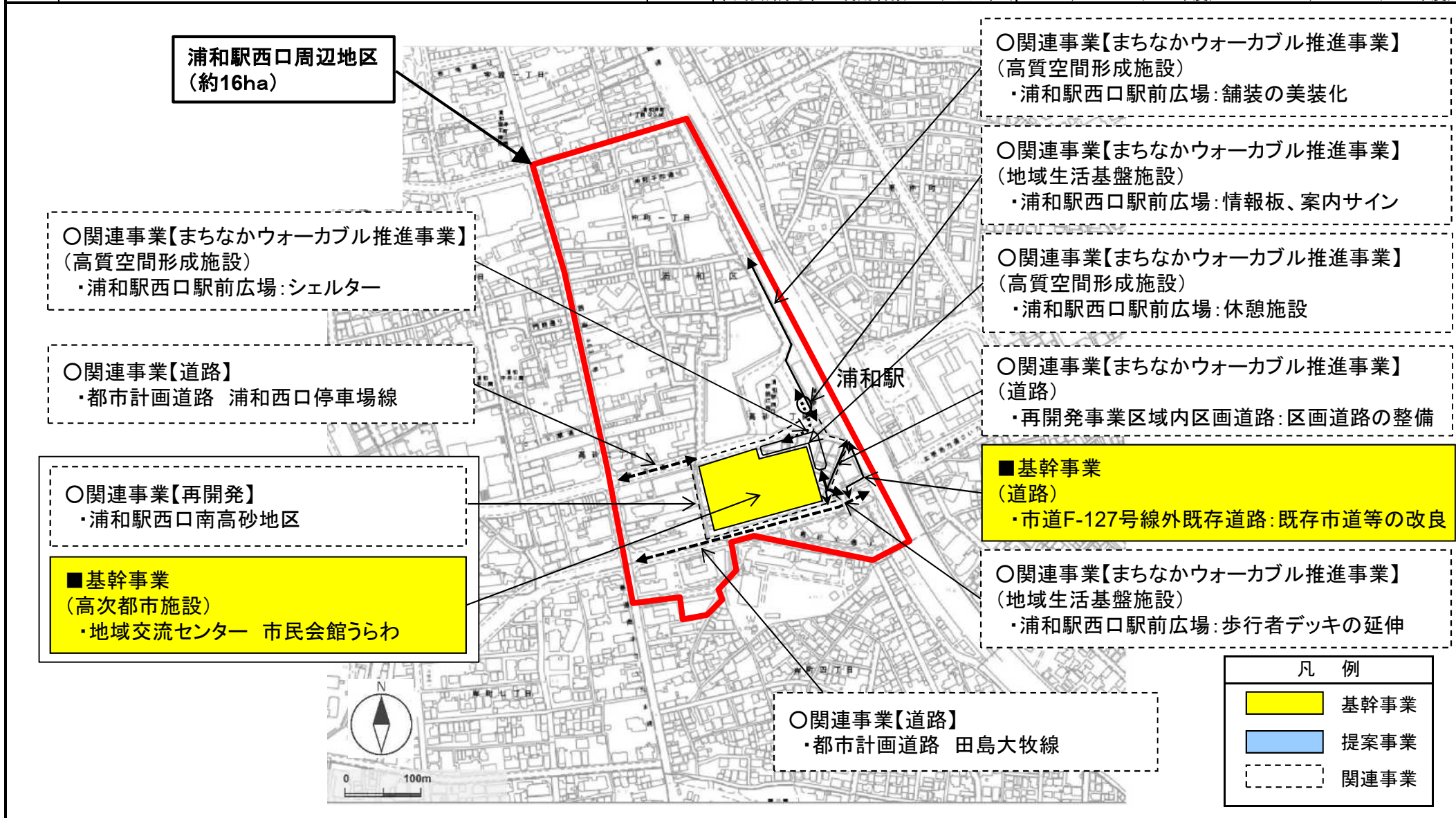
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><目標1> ・商業機能・文化機能等の集積強化・再形成によるにぎわいの創出 <整備方針1> ・駅周辺の再開発事業と連動した商業機能・文化機能等の集積</p>	<p>【基幹事業】 ・高次都市施設 地域交流センター 市民会館うらわ</p> <p>【関連事業】 ・浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業</p>
<p><目標2> ・居心地が良く歩きたくなる空間づくり <整備方針2> ・浦和駅西口の顔となる駅前における居心地が良く歩きたくなる空間、設えの整備とこれに併せたバリアフリー化の実施</p>	<p>【基幹事業】 ・道路 再開発事業区域内区画道路 ・道路 市道F-127号線外既存道路 ・高質空間形成施設 浦和駅西口駅前広場 ・地域生活基盤施設 浦和駅西口駅前広場</p> <p>【関連事業】 ・浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業 ・都市計画道路 田島大牧線 ・都市計画道路 浦和西口停車場線</p>
<p><目標3> ・幅広い文化芸術と気軽に触れ合えるまちづくり <整備方針3> ・駅周辺の再開発事業等と連動した文化機能の集積や滞留空間の整備による気軽に文化芸術を表現でき、身近に触れ合える機会の創出</p>	<p>【基幹事業】 ・高次都市施設 地域交流センター 市民会館うらわ ・高質空間形成施設 浦和駅西口駅前広場 ・地域生活基盤施設 浦和駅西口駅前広場</p> <p>【関連事業】 ・浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業</p>
<p>その他</p>	

浦和駅西口周辺地区(埼玉県さいたま市)	面積	約16 ha	区域	高砂1丁目、高砂2丁目の一部、岸町4丁目の一部、仲町1丁目の一部
---------------------	----	--------	----	----------------------------------



浦和駅西口周辺地区(埼玉県さいたま市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出及び文化芸術に気軽に触れ合える機会の創出を図る	代表的な指標	駅乗降客数 (人/日)	64,182 (R1年度)	→	65,254 (R8年度)
			地域の住み心地 (%)	88.3 (R1年度)	→	93.0 (R8年度)
			市民会館うらわの利用者数 (人/年)	192,745 (R1年度)	→	320,000 (R8年度)



浦和駅西口周辺地区(埼玉県さいたま市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーブル推進事業)

目標	駅周辺における商業機能・文化機能等の集積強化・再形成や回遊性の向上などによるにぎわいの創出及び文化芸術に気軽に触れ合える機会の創出を図る	代表的な指標	駅乗降客数 (人/日)	64,182 (R1年度)	→	65,254 (R8年度)
			地域の住み心地 (%)	88.3 (R1年度)	→	93.0 (R8年度)
			市民会館うらわの利用者数 (人/年)	192,745 (R1年度)	→	320,000 (R8年度)

